

## 平成 24 年度 日中活動支援委員会 報告書

活動目的：各市町村、各事業所の状況報告及び情報共有

- ：施設見学を兼ねた委員会の実施
- ：委員会の使命、役割等の更なる確立
- ：他事業所との円滑な連携を目指した名簿作成及び交流
- ：共通する課題への研修及び検討会議

第 1 回 平成 24 年 7 月 11 日（水） 14：00～17：30 神奈川県社会福祉会館

- ・ 新年度役員紹介
- ・ 本年度の活動計画と日程調整
- ・ 通所事業所としての共通議題の検討
- ・ 通所事業所共通の「質問シート」の作成

【11 事業所の参加（11 名の出席）】

第 2 回 平成 24 年 9 月 5 日（水） 14：00～17：00 神奈川県社会福祉会館

- ・ 通所事業所共通の「質問シート」の集計
- ・ 困難事例の紹介
- ・ 本年度の研修についての検討

【9 事業所の参加（9 名の出席）】

第 3 回 平成 24 年 11 月 14 日（水） 14：00～18：00 川崎市れいんぼう川崎

- ・ 施設見学
- ・ 「質問シート」の総括

⇒「ひとと関わりながら生活する」生活を専門職の立場から提案する。地域での居場所や役割を持つことで社会参加・自己実現につながる支援をすること。とまとめた。

- ・ 第 30 回神奈川県障害福祉職員実践報告会分科会の参加について検討

【3 事業所の参加（3 名の出席）】

第 4 回 平成 25 年 1 月 18 日（金） 14：00～18：00 神奈川県社会福祉会館

- ・ 予算執行の報告
- ・ 24 年度のまとめと 25 年度の展望について

【5 事業所の参加（5 名の出席）】

まとめ

- ・ 参加事業所が少ないときもあったが、質問シートは 9 事業所より回答があった。
- ・ 質問シートで通所事業所としての共通認識を持てたことは評価できる。今後の活用の仕方が課題。
- ・ サービス管理責任者が中心の委員会で、各事業所の検討・懸念事項を即座に検討することが出来る。また、横のつながりを持つことも出来た。
- ・ 25 年度は、各事業所のサービス向上のためにも研修を設定する。

日中活動支援委員会委員長 ソーレ平塚ケアセンター 加藤尚通